

# ゴミ奉行参上！

～質素倏約でごみ削減～

DEレポート No. 17

2023年7月  
作成者:M.T

 **脱炭素経営ドットコム**  
By DENKOSHA

「DEレポート」とは、環境やSDGsに係る社会問題を取り上げ、原因・背景から解決に向けた施策事例や将来の展望までを調査しコンパクトにまとめた報告書です。脱炭素経営ドットコムを運営する株式会社電巧社では、全従業員が本レポートの作成に取り組んでいます。



# 過去10年のリサイクル率は横ばい

## ■ リサイクル率は20%前後で停滞

- 市町村等による資源化と住民団体等による集団回収とを合わせた総資源化量は816万トン(令和3年度)
- リサイクル率はここ10年間でほぼ横ばいで、20%前後にとどまっている現状がある
- リサイクル率を向上させるための具体策に、どのようなものが考えられるのか？

## ■ 20%程度にとどまる一般廃棄物のリサイクル率

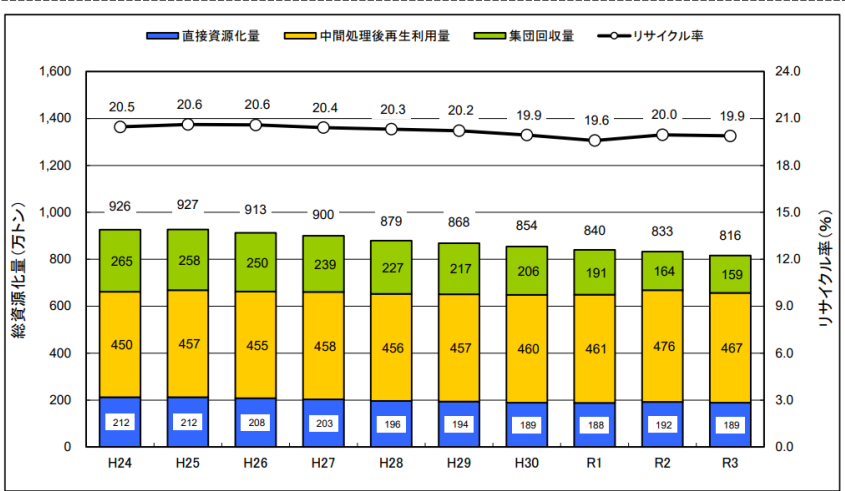


図-7 総資源化量とリサイクル率<sup>注10)</sup>の推移

出典:「一般廃棄物処理事業実態調査の結果(令和3年度)について 環境省」

## ■ 一般廃棄物リサイクル率の計算

$$\text{リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみの総処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

リサイクル率を上げるには？  
 ⇒分子の「直接資源化量」と「中間処理再生利用量」を増やす  
 ⇒分母の「ごみの総処理量」を減らす

出典:「一般廃棄物処理事業実態調査の結果(令和3年度)について 環境省」をもとに筆者作成

目標は明確だが、出来ない理由は？

## ■ リサイクル率を向上させる解決策

- 資源化量や再生利用量を増やすためには、ありきたりだが、分別が有効ではないだろうか
- ただし分別ルールは自治体により異なるため、自分が住む地域の分別ルールを正しく知り、実践することが大事である
- また、ごみの総処理量を減らすには、買い物や外食の時に「出るごみを想定しつつ買う(注文する)」ことで、ごみの発生を抑制できる

## ■ 市町村ごとの分別方法が検索できるサイトの活用

ごみサクとは  
 家庭ごみの削減に、適正処理を促進し、地球環境に貢献するための情報サイトです。  
 お住まいの地域・自治体ごとに、正しい捨て方やリユース方法を簡単に検索することができます。  
 ごみの分別方法は市区町村によって異なりますので、お住まいの地域を選択後、市区町村ごとのページから捨てたい品目を検索してください。  
 ※ごみサクに関する詳細は下記よりご覧ください

ごみサクとは検索  
 お住まいの市区町村を選択しよう  
 川口市

川口市 ごみ分別辞典

石	市に出せないもの	詳細
衣装ケース	粗大ごみ	詳細
椅子	粗大ごみ	詳細
いちごのバック	プラスチック製容器包装	詳細
一輪車(乗用)	粗大ごみ	詳細
一升瓶	びん	詳細

検索窓に市区町村名を入力すると、当該市区町村のウェブサイトにある分別ルール情報が品名ごとに調べられる便利ツール

出典:「ごみサク 株式会社G-Place」から抜粋

## ■ 外食時に意識することでごみを減らせる

**外食編**

- 1 店選び**  
 食品ロス削減に積極的に取り組む店を選ぶ  
 ▶ 料理の量を選ぶ店
- 2 注文**  
 食べられる分だけ注文する  
 ▶ 小盛りメニューやハーフサイズを活用
- 3 食事**  
 料理をおいしく食べる  
 ▶ みんなでシェアして食べきり

**宴会編**

- 1 味わいタイム**  
 乾杯後 30分はできて料理を楽しむ  
 ▶ 乾杯後 30分はできて料理を楽しむ
- 2 楽しみタイム**  
 料理を食べることも忘れず、全員で親睦を深める  
 ▶ 料理を食べることも忘れず、全員で親睦を深める
- 3 食べきりタイム**  
 お開き前の 10分間は、もう一度料理を楽しむ  
 ▶ 幹事は「食べきり」を呼び掛ける

出典:「今日からできる! 家庭でできる食品ロス削減 令和5年(2023年)6月16日 内閣府大臣官房政府広報室」から抜粋

何も難しいことはない、非常に簡単なこと

### ■ 個々人が楽しく質素倹約を

- 国民一人ひとりがそれぞれの目的や志向に合った質素倹約を続けることが、地域社会でのごみ排出ゼロに直結する。
- やりがいがないとモチベーションを維持できないので、やりがいのある質素倹約を自分で見つけることが大事。

### ■ ごみ減量化にもつながる質素倹約のメリット

#### 【お金】

- ムダな買い物をしなければ、ごみは減るしお金を増やせる（より有益にお金を使える）。

#### 【こころの健康】

- たまにある贅沢を存分に楽しめる。
- 物に囲まれることが少なく、シンプルな生活が心を落ち着かせる。
- 物やお金に対する価値観が変わり、人生の本当の意味や目的を見つけやすくなる。
- こころの安定は睡眠の質にも良い影響を及ぼす。

#### 【からだの健康】

- 栄養バランスがよく質素な食生活にすることで、内臓の調子がよくなり、ひらめきが多くなる。

#### 【社会・地球への貢献】

- 消費を抑えることでごみが減る。地球資源を節約し、環境保護に貢献できる。

出典：筆者の頭の中

他責でなく、自責がリサイクルの基本である

## ■ 参照・引用資料

- 環境省, 「一般廃棄物処理事業実態調査の結果(令和3年度)について」, 2023年6月26日閲覧(<https://www.env.go.jp/content/000123409.pdf>)
- 株式会社G-Place, 「ごみサク」, 2023年6月26日閲覧(<https://www.gomisaku.jp/>)
- 内閣府大臣官房政府広報室, 「今日からできる! 家庭でできる食品ロス削減」, 2023年6月16日(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/4.html>)



<https://de-denkosha.co.jp/datsutanso/>

脱炭素経営とは、再生可能エネルギーを創る「創エネ」、使う電気を減らす「省エネ」、創った電気を貯める「蓄エネ」をうまく活用し、会社・事業で排出する温室効果ガス「0」を目標にする経営のこと。

中小企業の私たちにも、できる取り組みが沢山あることを伝えたい。このような想いで、90年以上「電気」に向き合ってきた電巧社ならではのアイデアが詰まった創エネ、省エネ、蓄エネのソリューションをお伝えできる情報を、当サイトで発信しております。

DEレポートに関するお問い合わせ先はこちらへ

電気のコンシェルジュ  
**DENKOSHA**

株式会社 電巧社

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4

TEL: 03-3453-2221(本社代表)

担当: DEレポート事務局

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社電巧社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。